



2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月8日

上場会社名 富士製薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4554 URL <http://www.fujipharma.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理部長 (氏名) 上出 豊幸

TEL 03-3556-3344

四半期報告書提出予定日 2020年5月11日

配当支払開始予定日

2020年6月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	16,905	8.5	1,735	29.7	1,610	35.6	310	81.7
2019年9月期第2四半期	18,483	2.9	2,467	8.4	2,501	6.0	1,695	2.7

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 355百万円 (80.1%) 2019年9月期第2四半期 1,790百万円 (3.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	9.98	
2019年9月期第2四半期	56.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	58,162	39,262	67.5
2019年9月期	60,737	39,363	64.8

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 39,259百万円 2019年9月期 39,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		14.00		15.00	29.00
2020年9月期		14.00			
2020年9月期(予想)				15.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,830	6.8	2,571	38.4	2,501	40.0	492	83.3	15.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	31,253,800 株	2019年9月期	31,253,800 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	95,260 株	2019年9月期	101,726 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	31,156,216 株	2019年9月期2Q	29,928,566 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項については(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10
4. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦などによる世界経済の影響を受け企業業績は足踏みが続いているなか、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、国内外ともに先行き不透明で予断を許さない状況になっております。

医療用医薬品業界におきましては、2019年10月の消費税増税に合わせた薬価改定に加え、2020年4月にも薬価改定が行われ、新薬創出加算の適用品目を大幅削減、長期収載品の一部を後発医薬品と同一価格まで下げる厳しい薬価基準制度が決まるなど、その事業環境はますます厳しくなっております。また、2019年10月の薬価改定では、薬価ベースで業界平均2.4%の引き下げが行われ、当社製商品の薬価引き下げによる影響は5.5%となりました。さらには2020年4月の薬価改定では、薬価ベースで業界平均4.38%の引き下げが行われ、当社製商品の薬価引き下げによる影響は1.41%となりました。

このような状況のもと、当社グループは2030年ビジョンとして「世界の女性のwell-beingの向上に貢献している」、「薬の富山からGlobal Marketに進出している」、「世界一幸せな会社と社会貢献が一体化している」を新たに掲げ、2030年に向けた成長戦略にグループ全体で取り組んでおります。

そのなかで当社は、重点領域である産婦人科領域において、2016年に当社が初めて製造販売承認を取得した「生殖補助医療における黄体補充」を効能・効果とする天然型黄体ホルモン製剤「ウトロゲスタン腔用カプセル200mg」の販売に注力するとともに、ジェネリック医薬品の子宮内膜症治療剤「ジェノゲスト錠」、同じくジェネリック医薬品の緊急避妊剤「レボノルゲストレル錠」を中心にシェア拡大を図っております。

放射線科領域においては、非イオン性尿路・血管造影剤「オイパロミン注」、非イオン性造影剤「イオパーク注」の更なるシェアの拡大に向け注力しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、16,905百万円（前年同期比8.5%減）となりました。利益面につきましては、当期は2019年10月の薬価改定の影響を受けたことや、新薬開発が予定通り進捗していることによる研究開発費の増加などにより営業利益は1,735百万円（同29.7%減）となり、経常利益は1,610百万円（同35.6%減）、当社が保有する「その他有価証券」に区分される投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、回復する見込みが認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は310百万円（同81.7%減）となりました。当社は四半期財務諸表における有価証券の減損処理に関して、洗替え法を採用しており、2020年9月期第3四半期会計期間末又は2020年9月期会計年度末において、株式の時価が取得原価の50%以上に回復する場合等は投資有価証券評価損の戻入を行うこととなります。

なお、当社グループは、医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は58,162百万円となり、前連結会計年度末比2,574百万円の減少、純資産は39,262百万円と前連結会計年度末に比べ101百万円の減少となり、自己資本比率は67.5%となりました。

(資産)

資産の部においては、流動資産については、現金及び預金が減少したこと等により2,176百万円の減少、固定資産については、投資有価証券の減少等により397百万円減少しております。

(負債)

負債の部においては、流動負債については、1年以内返済予定の長期借入金の減少等により1,775百万円減少しております。固定負債については、長期借入金の減少等により697百万円減少しております。

(純資産)

純資産の部においては、為替換算調整勘定の減少があったこと等により101百万円減少しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は6,046百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益423百万円に、仕入債務の増加額1,224百万円、投資有価証券評価損1,172百万円、減価償却費866百万円などを加える一方、たな卸資産の増加額1,246百万円があったこと等により、営業活動による収入は2,442百万円（前年同期比161百万円の収入増）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出1,592百万円があったこと等により投資活動による支出は1,724百万円（前年同期比6,425百万円の支出減）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出2,420百万円があったこと等により、財務活動による支出は3,133百万円（前年同期は6,068百万円の収入）となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期通期の連結業績予想につきましては、2019年11月8日に公表いたしました数値から変更しております。詳細につきましては、本日（2020年5月8日）公表の「第2四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(追加情報)

(役員向け株式交付信託について)

当社は、中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意欲を高めることを目的として、当社の取締役(代表取締役会長および社外取締役を除きます。)及び執行役員(株式交付規程に定める受益者要件を満たす者)を対象とした業績連動型株式報酬制度「役員向け株式交付信託」を導入しております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。

- (1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として設定した信託を通じて当社株式(当社普通株式。以下同じ)を取得し、取締役等に対して、当社取締役会が定める役員等株式交付規程に従って、その役位及び業績に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式及び金銭を毎年交付する株式報酬制度であります。取締役会は、役員等株式交付規程に従い、毎年12月にポイント算定の基礎となる金額を決議し、それに応じた株式を、翌年11月に交付いたします。

- (2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付属費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度51百万円、33,369株、当第2四半期連結会計期間41百万円、26,881株であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,494	6,046
受取手形及び売掛金	12,944	12,870
商品及び製品	3,437	3,620
仕掛品	2,539	2,622
原材料及び貯蔵品	4,735	5,650
未収入金	43	58
その他	1,724	874
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	33,919	31,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,117	4,907
機械装置及び運搬具(純額)	1,646	1,688
土地	919	897
リース資産(純額)	2,318	2,008
建設仮勘定	1,484	2,575
その他(純額)	232	221
有形固定資産合計	11,718	12,298
無形固定資産		
のれん	1,494	1,279
その他	1,805	1,767
無形固定資産合計	3,300	3,046
投資その他の資産		
投資有価証券	7,342	6,631
長期前渡金	2,308	2,308
繰延税金資産	1,288	1,306
その他	858	828
投資その他の資産合計	11,798	11,075
固定資産合計	26,817	26,420
資産合計	60,737	58,162

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,813	6,000
1年内返済予定の長期借入金	2,840	840
リース債務	530	502
未払法人税等	492	270
賞与引当金	856	417
役員賞与引当金	7	2
返品調整引当金	22	25
その他	2,448	2,177
流動負債合計	12,012	10,237
固定負債		
長期借入金	5,530	5,110
リース債務	2,014	1,721
退職給付に係る負債	1,396	1,432
その他	418	399
固定負債合計	9,360	8,663
負債合計	21,373	18,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,799	3,799
資本剰余金	5,841	5,841
利益剰余金	29,243	29,086
自己株式	△78	△68
株主資本合計	38,804	38,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△340	△20
為替換算調整勘定	896	608
退職給付に係る調整累計額	△0	13
その他の包括利益累計額合計	556	601
非支配株主持分	2	2
純資産合計	39,363	39,262
負債純資産合計	60,737	58,162

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	18,483	16,905
売上原価	10,561	9,255
売上総利益	7,921	7,650
販売費及び一般管理費	5,454	5,914
営業利益	2,467	1,735
営業外収益		
受取利息	2	0
受取手数料	0	0
受取補償金	3	5
助成金収入	0	3
受取保険金	116	0
その他	13	4
営業外収益合計	136	15
営業外費用		
支払利息	19	18
売上割引	5	3
為替差損	76	116
その他	0	0
営業外費用合計	101	140
経常利益	2,501	1,610
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	2	15
投資有価証券評価損	-	1,172
特別損失合計	2	1,187
税金等調整前四半期純利益	2,499	423
法人税、住民税及び事業税	653	279
法人税等調整額	150	△167
法人税等合計	803	112
四半期純利益	1,695	311
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,695	310

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	1,695	311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	319
繰延ヘッジ損益	△23	-
為替換算調整勘定	△14	△288
退職給付に係る調整額	△3	13
その他の包括利益合計	94	44
四半期包括利益	1,790	355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,790	355
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,499	423
減価償却費	930	866
のれん償却額	139	143
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△482	△438
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	31	63
受取利息及び受取配当金	△2	△1
受取保険金	△116	△0
支払利息	19	18
為替差損益(△は益)	76	100
固定資産除却損	2	15
投資有価証券評価損益(△は益)	-	1,172
売上債権の増減額(△は増加)	1,207	28
たな卸資産の増減額(△は増加)	105	△1,246
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,178	1,224
長期前渡金の増減額(△は増加)	△64	-
その他	△663	541
小計	2,495	2,908
利息及び配当金の受取額	2	1
保険金の受取額	116	0
利息の支払額	△23	△19
法人税等の支払額	△308	△447
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,281	2,442
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5,548	-
有形固定資産の取得による支出	△783	△1,592
有形固定資産の売却による収入	1	23
無形固定資産の取得による支出	△1,499	△138
長期前渡金による支出	△318	-
その他	△0	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,150	△1,724
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△0
長期借入れによる収入	7,000	-
長期借入金の返済による支出	△210	△2,420
配当金の支払額	△419	△467
リース債務の返済による支出	△302	△245
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,068	△3,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	183	△2,448
現金及び現金同等物の期首残高	6,251	8,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,435	6,046

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループ(当社及び連結子会社)は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2020年4月2日開催の取締役会決議に基づき、運転資金として以下の新規借入を実行いたしました。

(1) 借入先の名称	株式会社三井住友銀行	株式会社三井住友銀行	株式会社三菱UFJ銀行
(2) 借入金額	2,000百万円	1,000百万円	2,000百万円
(3) 借入実行日	2020年4月14日	2020年4月14日	2020年4月10日
(4) 借入金利	市場金利等を勘案して決定しております。	市場金利等を勘案して決定しております。	市場金利等を勘案して決定しております。
(5) 返済期限	2025年3月31日	2021年3月31日	2025年4月10日
(6) 担保提供資産	無し	無し	無し

4. 補足情報

(1) 販売実績

薬効	前第2四半期連結累計期間 自 2018年10月1日 至 2019年3月31日		当第2四半期連結累計期間 自 2019年10月1日 至 2020年3月31日		前年同期比 増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
(製 品)					
診断用薬	5,980	32.4	4,457	26.4	△25.5
ホルモン剤	4,109	22.2	4,360	25.8	6.1
代謝性医薬品	760	4.1	707	4.2	△7.0
神経系及び感覚器用剤	47	0.3	560	3.3	1,076.7
組織細胞機能用医薬品	461	2.5	476	2.8	3.4
抗生物質及び化学療法剤	397	2.2	368	2.2	△7.4
循環器官用薬	466	2.5	356	2.1	△23.7
その他	4,218	22.8	4,532	26.8	7.5
製品合計	16,442	89.0	15,820	93.6	△3.8
(商 品)					
ホルモン剤	1,122	6.1	692	4.1	△38.3
体外診断用医薬品	391	2.1	305	1.8	△21.8
その他	526	2.9	86	0.5	△83.6
商品合計	2,040	11.0	1,085	6.4	△46.8
合 計	18,483	100.0	16,905	100.0	△8.5

- (注) 1. 当社グループは、医薬品事業の単一セグメントであり、セグメント情報を記載していないため、薬効分類別販売実績を記載しております。
2. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
3. 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。